

1978—1979

委員会活動方針



鹿児島西ロータリークラブ

会 長 挨 拶

会長 藤 安 辰 造

Reach Out(手をさし伸べよう) 本年度国際ロータリー会長クレム、レヌーク氏のターゲットです。

職場で、会場で、街で広く世界でロータリーの理想を実践する為に手をポケットに突込んで居ないで差し伸べて積極的に行動せよとの趣旨です。

ロータリーは自己研鑽の場であり、奉仕の理想の実践には親睦がうまく行われている事が大切で、親睦があってこそ自他を分かたぬ心を養い思いやりの心、友愛が職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕と発展して行くわけであります。

親睦の源泉は例会への出席であります。例会の欠席をしますと切磋琢磨の機会を失う事によって本人の損失は勿論、他のメンバーへの迷惑は最も大きいものとなりロータリーの存立の価値を失う事にもなります。出席と親睦とはロータリークラブに於て一番大事な原則であると思います。又インターアクト、ローターアクトクラブに対して指導と激励をしてあげ、若い人たちが奉仕に参加出来る機会を与える様にすることも大事であると思います。若者の強烈なエネルギーを奉仕の面に向けて貰ったらどんなに街は、職場は素晴らしい事でありましょう。

親睦、出席を中心として各委員会が活動してクラブ内部の充実を図る事、及青少年奉仕の活動に目を向ける事を本年度の主たる目標にして行きたいと思えます。

創立以来16年西R.Oのメンバーの御努力により輝かしい歴史を打ち立てて来られました。この輝かしい歴史を汚す事なくより一層磨きをかけて行かねばならないのでありますが、之は却々困難な仕事でありまして会員皆様の益々の御指導と御協力を切に御願ひ申上げます。

幹 事 挨 拶

幹事 三 角 桂次郎

この一年間いろいろご迷惑をおかけするかもしれませんがどうぞよろしく
お願い致します。

各委員会が活発に活動できるように幹事は事務局長ですのお手伝いします。
特に親睦を重視し、なかんずく会員間のお互いの理解を深めること、そして
会員相互の切磋琢磨 又、いろんな方面にご活躍の会員のご協力もお願い致
します。

プログラムも、会員卓話をもりこみ、全員が1度は卓話をしたことがあると
いうように、計画していただきたい。

クラブ奉仕委員会活動方針

委員長 川 上 鉄太郎
(副会長)

1. 基本方針

クラブ奉仕の任務はクラブ奉仕の各委員会の効果的な奉仕活動を調整，
監督し，助言し，支援していくことでありますので，クラブ奉仕部門の各
委員会とのコミュニケーションを深めることに努めます。また，R I会長の
本年度のターゲット「手をさし伸べよう」を十分理解し，徹底すると共に，
クラブの本年度の重点方針である次の二つの件について関係委員会と協力
してその達成を計ります。

- (1) クラブ会員の親密な融和を計るため親睦活動を推進する。
- (2) 出席率の向上を実現する。

2. 計 画

- ① クラブ奉仕各委員長会議を必要の都度随時開いて，夫々の業務の内容
について討議し，意見の交換を行い，理事会にかけるべきものは直ちに

その手続きをとり実行に移したい。

- ② 年度計画表を幹事と協議の上作成し、各委員長に配布しクラブ運営を円滑に遂行したい。
- ③ 本年度は、親睦活動及び出席率の改善向上を重点的に推進するが、そのためにも、プログラム、ロータリー情報、内外広報、ビジターとの接触を深めることに努力したい。
- ④ クラブ外各種会合へのクラブ会員の積極参加を促したい。
- ⑤ クラブ新入会員数は、5名程度としたい。

S・A・A 委員会活動方針

委員長 原 三 郎
吉 留 益

1. 基本方針

例会の準備進行，秩序維持に気を配り，例会の円滑な運営と例会を愉快なものにする。

2. 計 画

- (1) 会場のリラックスした楽しいふんいきを作る。
- (2) 親睦委員会と連絡を密にして，又会員のアイデア・意見等を探り入れる
- (3) 特に座席の配置については，委員会別，趣味別等により人の知り合いを
広める。
- (4) 親睦委員会と協力し合って，ニコニコボックスの増収を図る。

出席委員会活動方針

委員長	新 原	剛
副委員長	渡 辺	匡
	木治屋	克己
	前 田	好文
	佐 伯	延次郎
	後 藤	泰久

希望予算額 190,000円

1. 基本方針

(1) 出席訂正率100%を目標とする。

各種会合への出席を奨励し全会員に出席規定を周知せしめるようにつとめる。

2. 計 画

(1) 連続出席者表彰を本年度も引続き実施する。

(2) 常に出席率を把握し、欠席者への連絡を密にする。

(3) 出席規定については情報教育の一環として行う。

(4) ロータリー情報委員会等に協力してもらって、地区大会その他上級会合への出席、特にホームクラブへの出席の大切なことを会員にくりかえし強調したい。

職業分類委員会活動方針

委員長	若 松	宇治彦
	佐 伯	寿 郎
	桜 美	四 郎

希望予算額 100,000円

1. 基本方針

職業分類にもとづく会員組織計画はR.Cの正しく且つ積極的活動の基本の問題であるので、理事会と協議してその任務をつくりたい。

2. 計 画

おそくとも8月末までに充填。未充填の職業分類一覧表を作成し、必要に応じては現職業分類を再検討もしたい。

職業分類に関する問題については理事会と相談しながら作業をすすめたい。

会員選考委員会活動方針

	委員長	宇治野 純 章
		城 哲 男
希望予算額		岩 元 健 吉
		牧 田 健 二
		新 福 栄 熊

1. 基本方針

職業上ならびに社会的地位の重要な人で、ロータリーの奉仕の精神をよく理解でき、例会出席可能で、その意欲のある人を選考して報告したい。

2. 計 画

- (1) 例会出席可能で、その意欲もあるかどうかの点については特に選考時留意する。
- (2) 選考すべき新入会員の数は、年度を通じ5名位を予定している。

会員増強委員会活動方針

	委員長	永 井 利 承
		中 村 善 治
希望予算額		山 田 裕 三
		岡 元 健 一 郎
		橋 口 十 藏

1. 基本方針

- (1) 職業分類委員会、会員選考委員会と緊密な連絡をとり、質の良い積極的な活動をされる若い会員を増強する。
- (2) 情報委員会と協力し、量のみならず現会員の質の向上に努める。

2. 計 画

- (1) 現会員数は89名であるが、年間新入会員目標を約5名とする。
- (2) 全会員の協力をお願いし、職業分類委員会、会員選考委員会、広報委員会と協議し、当クラブの将来を考え、良質の若い会員及び、報道関係者の増加を図る。
- (3) 会員の平均年齢、最近5乃至10年間の増加率、減員の状況等、会員増強の「データ」を作製する。

プログラム委員会活動方針

	委員長	二階堂	正 明
		岩 元	正 二
希望予算額	150,000円	池 口	恵 観
		古 木	圭 介
		柴 山	一 雄

1. 基本方針

例会の卓話は、会員相互の啓発と、地域社会との連帯意識の高まりを目標にするのが好ましい。しかもそれは、興味深く、有益なもので、例会出席を楽しくするものでありたい。このため、会員の卓話と、各分野で活動している方々の卓話を、交互に提供するようにしたい。

2. 計 画

- (1) プログラム委員は本年度卓話者の選定、紹介を毎月交替で担当する。
- (2) 卓話時間30分のうち4～5分程度質疑もできるようにしたい。

- (3) 遠隔地からのビジターには、3分間程度感想ものべていただきたい。
- (4) 会員各位は外部卓話者の紹介幹旋に積極的に協力していただきたい。

広報委員会活動方針

希望予算額 60,000円

委員長 水 洸 清 治
 徳 沢 紀 生
 川 村 洋
 久 保 政 次
 近 藤 典 文

1. 基本方針

地域社会の認識、理解、および支持の基盤拡大を計る。其の為、広報活動を通じて、ロータリーの奉仕活動等を、一般の人々により広く、知ってもらう様計画を立て、実行したい。

2. 計 画

- (1) 地元の報道機関との接触を保っていく為、定期的に広報関係者と会合を催す。
- (2) 特に先方が記事にしたいと思う様な事が有る場合は、クラブ例会に招く。
- (3) 報道価値の有る情報（交換学生、留学生等）は、週報等を利用して、報道機関並に役所（県庁広報課）等に配布する。
- (4) 報道機関の関係者を積極的に入会させる様に、会員増強委員会に御相談の上、努力したい。

親睦委員会活動方針

	委員長 鹿海武
	米倉清嘉，谷山寛
希望予算額	松田徳平，幸泉芳良
1,500,000円	柿市高重，中沢省三
	小正芳史，軸屋昭二
	太原春雄

1. 基本方針

「親睦はロータリーの原動力である」との信念に基き、会員相互の親睦は勿論のこと、会員家族・ローターアクト・インターアクト等を含めた広範囲な親睦を深めるよう活動を推進する。

2. 計画

- (1) 心構え …… 親睦委員は例会その他の場において、出来るだけ多くの会員等と親睦を深めるよう努力する。
- (2) 行事 (A) 従来どおり、観月会・クリスマスの2回家族ぐるみの親睦会を実施する。
(B) 親睦ゴルフ会を年2～3回実施する。
(C) 夜の懇親会を年2～3回実施し、特に新入会員との交流を計る。
- (3) ビジターに対し、積極的に話しかける等、親睦増進に努める。県外ビジターに対し、当クラブの記念品を贈呈すると共に、3分間スピーチを依頼する。
- (4) スマイル・ボックスについては、会員の関心を高め、自主・積極的申出を勧奨する。

ロータリー情報委員会活動方針

希望予算額 300,000円

委員長 福田 正 臣

瀬戸山 勝 資

山下 静 雄

1. 基本方針

会員がロータリアンとしての自覚を新たにし、ロータリアンとしての在り方を更に充実するに必要、有効と思われる意義ある提案や、新しい情報を会員に提供することに努める。

2. 計 画

- (1) 新入会員にロータリーの目的、会員の義務、特典などを充分理解して貰うよう、度々話し合いの機会を持つ。
- (2) プログラム委員と連絡して、毎週の例会に「ロータリー三分間情報」の時間を設け、各委員会持ちまわりで、又は会員の希望者に適時担当して貰う。
- (3) 毎週の例会は勿論、その他の上部会合への、会員一同の、積極的な出席を督励して親睦と理解を更に深める。
- (4) 「ロータリー学習会(仮称)」を作り、会員の希望者が2～1ヶ月に1回集ってロータリーについての勉強をしたい。
- (5) 週報の中に「ロータリー情報コーナー」を設けて、ロータリーに関する情報、教訓などの寸言を月毎に変えて掲載し、会員の勉強の資にした

会報雑誌委員会活動方針

委員長 和田吉人

委員 中尾正昭

委員 池田広馨

希望予算額 500,000円

委員 尾辻省悟

委員 大庭昇

1. 基本方針

- (1) 週報を通じ会員の心の交流を計り、親睦を増進する。
- (2) 週報を通じ会員が有意義なロータリー活動を推進できる様努める。

2. 計画

- (1) 各委員長と連絡をとり、ロータリー教育に寄与する記事を週報にのせる。
- (2) ロータリアン誌をローターアクト、インターアクト(鶴丸高校、鹿児島高校)に配布する。
- (3) 週報の一部を刷新する。

職業奉仕委員会活動方針

委員長 平岡禎吉

委員 岩元基

委員 高井敏治

委員 外西寿彦

委員 池田穰

希望予算額 80,000円

1. 基本方針

ロータリーの全会員は、現在従事している実業や専門職業を通じて、人に奉仕するのが、本旨であり、義務である。この基本精神を十分に理解

することから出発する。

2. 計 画

- (1) 上記の義務を果たしているか、どうかを反省するために、「職業の日」を設定し、職業上の実践状態を自己評価するために、全員に職業奉仕採点用紙を配布し、自己評価する機会を持つ。
- (2) 優良職場訪問、優良職業人の表彰
- (3) 事例研究を実施する。

社会奉仕委員会活動方針

希望予算額 250,000円

委員長 海老原 利 則
 田原迫 卓 視
 福 田 敏 之
 鮫 島 志芽太
 田 平 礼 章
 桜 美 義 明

1. 基本方針

他の奉仕委員会とも連絡を密にしながら、地域社会のニーズを調査研究して、個人並にクラブとしての奉仕活動を積極的に行い、明るい街づくりに協力する。又産業特に建設災害で遺児及母子家庭を作らない災害予防奉仕をも行う。

2. 計 画

- (1) 各家庭余品のバザー又は供出等を行い R A C の奉仕活動に協力する。
- (2) 身障者養護施設業の補助
- (3) 小さな親切運動の実践
- (4) 交通安全、火災防止運動への協力
- (5) 産業災害特に建設災害防止のための協力（視聴覚教育）

(6) 老人ホーム，寝たきり老人への援助

(7) ロータリー賞候補者の発掘

青少年奉仕委員会活動方針

希望予算額 350,000円

委員長 高 橋 司
内 山 光 男
下 野 隆 三
小 園 正 人

1. 基本方針

青少年に建設的な感化を与え，道義の高揚と他人への奉仕を強く訴える機会を数多く作る様にする。その為にはクラブ会員全体の関心を深め，青少年の指導教化には「親子関係」の心情をもって之を支援し責任をもつようにしたい。

2. 計 画

I A C活動については，学校長，指導教官と密接に連けいを取り，話し合いの場をもつ。

連絡協議会，青少年奉仕週間，早朝清掃作業に協力する。

R A C活動については，会員の質的増強を計り，尚特に当クラブ会員の推薦が望ましい。又「R Cと共にあるR A C」としてお互いの例会出席を頻繁，密接にレクラブをあげてアクトへの関心理解を深めたい。卓話も数多くお願いしたい。資金調達にも知恵を貸すよう努力する。

青少年野外活動は，R A C . I A C . 一般青少年合同の活動として企画する。

インターアクト部会活動方針

	部会長	土橋	滋
		中村	俊雄
希望予算額	350,000円	久保田	彦穂
		中村	一雄
		藤	都喜七

1. 基本方針

青少年奉仕委員会中のインターアクト委員会と独立し、其の趣旨に則り、発足時の原点に帰り、当クラブ提唱の鶴丸高 I.A.、鹿児島高 I.A. の強化育成に努めたいと思えます。

実行可能な企画は無限であり、彼等の活動方針に共に働く一つの方法である認識に立ち良き指導者になるう。

2. 計 画

- (1) 昨年度再会結成をみた鶴丸高 I.A. の育成強化に全力を挙げたい。
- (2) 例会、行事に極力招待し、I.A. 会員と接触の機会を増し、参加して良かったと感銘を与えるべき方向へ導きたい。
- (3) 地区 I.A. 第14回年次大会に参加し、共に考え、共に働く様にする。
- (4) I.A. 活動はいかに地域社会に奉仕し、そのニーズに答えるか模索しましょう。

ローター.アクト部会活動方針

	部会長	篤	辰	雄
		岩	田	一
		河	井	時
希望予算額	800,000円	林	其	為
		安	田	正
		小	山	幸
		澤	田	貴太郎

1. 基本方針

ロータリー活動を通じてローターアクトとの交流を深め、R.A.C がロータリアン精神に則り、より健全なる生長をする様に積極的に支援する。

2. 計 画

- (1) R.A.C の例会、理事会及奉仕作業には極力出席する。
- (2) 例会及各種行事に極力招待し、ロータリアンとの親睦が図れる様に努める。
- (3) 会員増強についても、当クラブ員の子弟より極力出す様にしたい。
- (4) 卓話者を当クラブ会員より極力推薦する。

国際奉仕委員会活動方針

希望予算額 850,000円

委員長 川 畑 正 美
鮎 川 六 男
徳 田 基
光 吉 正 昭
岡 山 栄

1. 基本方針

従来からの方針にそって国際理解と親善を深め、世界平和に寄与できるよう全会員の協力と参加をお願いする。

2. 計 画

- (1) 交換学生については、ホストファミリーの御協力を戴き乍ら、他の会員の御家庭にも随時、招待して下さるよう協力方をお願いする。
- (2) 家族会開催の機会等に留学生を招待し、会員との親睦を図り理解を深める。
- (3) 国際理解に関する行事を計画する。

ロータリー財団委員会活動方針

委員長 徳 留 栄 次
肥 後 克 郎
岩 男 秀 彦

1. 基本方針

国際理解と友好関係を増進するという「ロータリー財団」の目的達成促進のため

- (1) ロータリー財団のことについてよく伝え、理解してもらう。
- (2) ロータリー財団の仕事への参加
- (3) ロータリー財団に対する財的支援を奨励する。

2. 計 画

- (1) ロータリー財団と、その活動、目的について会員に説明し、又地区内クラブの活動状況を知らせることに努め、その理解を深める。
- (2) 補助金候補者の推せん
- (3) 地元又は地区内に留学している他国の財団補助金受領者との接触の機会を提供する。
- (4) ロータリー財団週間（11月15日を含む）の行事への参加
- (5) 百万弗食事による財団資金への支援
- (6) 年間目標を300%とし、準フェロー会員を募集する。